

MY COOL CHOICE CHALLENGE

インタビュートーク

私の賢い選択

VOL.1

PERSON

かのう ともや
狩野 智也 選手

プロロードレーサー。
群馬グリフィン・レーシングチーム所属。同チームキャプテンを務める。

「水」を大切にできる選択

ロードレースでは、自転車に飲み水の入ったボトルを装着して走ります。

真夏のレースでは、わずか10分前後で1本のボトルが空になってしまうこともあり、ほくたち選手にとって水は無くしてはならないものです。給水が十分でないこと、試合成績に影響することはもちろん、健康面でもリスクが高まるので、重要な問題です。

大量の水を消費する立場だからこそ、水を大切に、ムダにしないように心がけています。

前橋の「水」のめぐみ

豊富な水に恵まれた前橋市は、他の地域よりも水へのありがたみを感じやすい、そんな土地であると思います。



ほくも経験したことがあります。海外の多くの地域では、蛇口からそのまま出た水道水を安全に飲むことはできません。

安全な水がいつでも、どこでも飲める環境にあるからこそ、感謝の気持ちを持って、大切に水を使いたいものです。

海外のエコ事情

レースで様々な国を訪れましたが、スイス滞在中の経験はかなり衝撃的でした。

まだ、日本のごみの分別が『燃えるごみ』と『燃えないごみ』の2種類しかなかったような時代、スイスでは10種類ほどにもなる、細かいごみの分別が行われていたのです。スイスは多くの国々に囲まれた内陸国です。ごみ一つ落ちていないような国なので、国境を越えてスイスの外に出ると、道にちらほらとごみが落ちていたりします。このときは、国ごとの環境意識の違いに驚きましたね。

自然と共生するスイス

自然豊かなスイスですが、もちろん人工物が全く無いなんてことはありません。

チューリッヒなどの都市は、景観を損ねる高層ビルなどの建築が禁止されている区域があるようです。しかし、国際的な企業も数多く集まる街であり、町には花や緑も多く、自然と人間の暮らしが調和しています。

マッターホルンのような観光地でも、自然保護のため、移動手段は電気バス、または昔ながらの馬車のみという徹底ぶり。今思えば、とんでもないエコ先進国に滞在していたんだなあと思います。

「ママチャリ」がない！

海外ではスポーツバイクやマウンテンバイクのような自転車主流なので、いわゆるママチャリタイプの自転車は、実は日本にしかないんですよ。逆に、欧米の主婦層が日本のママチャリを欲しがっている。

るといふ話もあるくらいなんです。本格的に輸出したらかなり売れるんじゃないかな。電動アシスト付自転車も、日本ほど種類が豊富な国はほかにありません。通勤用、通学用、主婦向けの製品展開や、坂道で自動的に電動に切り替えて走行する機能など、高性能のものが数多くあります。

○自転車の魅力を手軽に

健康のために自転車を活用したいと思っても、特に赤城山南麓地域にお住まいの方は、道に傾斜があり、なかなか簡単なものではありません。

でも、電動アシスト付自転車なら大丈夫。電動といってアシスト程度なので、漕がなければ進まないし、バランスも取れません。

とにかくこの『漕ぐ』という動作が大切です。これだけで日常生活での運動量はぐっと増加します。つらい坂道でも、ほくたち選手とほぼ変わらないスピードでラクラク進むことができます。これはかなりすごいですよ。

○自転車のまち『まえばし』

「このまちにサイクリングロードはありますか？」という質問に対し、漠然とでも「利根川のあたりにある」と答えることのできる前橋のひとは意外と多いです。

しかし、他のまちでは全く答えられないばかりか、サイクリングロードの存在も知らないという人が多いのです。前橋の人々に、さらに自転車を身近に感じてもらうためには『ソフト』な部分のアプローチが大切になってくると思います。

ほくたちの競技のようなハードさではなく、自転車の楽しさ、手軽さといったソフトな部分。ここに、自転車普及のポイントがあると思うんです。

車も、自転車も、歩行者もみんなが譲りあい、尊重しあいながら道路を使うことも大切です。自転車は季節を感じることのできる乗り物です。まちづくりのアイコンとしても魅力的です。ハードな自転車からソフトな自転車まで、

年代や性別に関わらず、みんなが自転車を楽しめるまちと なってほしいです。環境や健康は、今後ますます重要となってきます。自転車が、そんな未来のために貢献できる存在となればうれい いですね。

作成 前橋市環境政策課
取材 平成29年9月6日



クールチョイス
COOL CHOICEは、
環境にやさしい省エネ型の製品や、サービス、暮らしの工夫など、
地球温暖化を防ぐあらゆる「賢い選択」をすすめる国民運動です。